

令和5年第35回定例公安委員会会議録

開催日時 令和5年12月7日(木) 午前11時15分～午後2時40分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時18分

2 出席者

公安委員会 衣笠委員長 勝部委員

警察本部	半田警察本部長	雲田警務部長	山本首席監察官
	笠田生活安全部長	加藤刑事部長	前田交通部長
	岡山警備部長	植木警察学校長	坂口情報通信部長
	足羽警務部参事官	前田浜村警察署長	

(事務局等～畔田公安委員会補佐室長、前田室長補佐)

3 議題事項

警察職員に対する援助要求(警備部)

警察本部

三重県公安委員会から、内閣総理大臣等の警護のため、特別派遣の援助要求があった。

委員

鳥取県公安委員会として受諾する。しっかりと任務を果たしていただきたい。

4 報告事項

○著名人を起用した広報活動の実施について～琴浦大山警察署一日警察署長(警務部)

○鳥取県警察嘱託警察犬等審査会の開催結果等(刑事部)

- 令和5年年末の交通安全県民運動の実施（交通部）
- 「ゾーン30プラス」の新設等（交通部）
- 衛星画像の効果的活用に関する教養の実施結果（情報通信部）
- 浜村警察署の取組状況（浜村警察署）

(1) 著名人を起用した広報活動の実施について～琴浦大山警察署一日警察署長（警務部）

警察本部

琴浦大山警察署では、12月17日、人気お笑いコンビ「ガンバレルーヤ」を一日警察署長に任命し、広報活動を実施する予定である。

「ガンバレルーヤ」は、吉本興業所属の女性二人組のお笑いコンビで、テレビの全国波放送でも活躍されているところ、メンバーの「まひる」さんが鳥取県西伯郡大山町の出身であるということもあり、最近では日本海テレビ制作の番組にも出演されている。

全国的な知名度を有し、大山町では観光大使としても起用されるなど、鳥取県内でも郷土出身のタレントとして広く県民に知られており、一日警察署長の起用によって、県民やマスメディアの注目を広く集めるものと考えている。

実施予定日の12月17日は、年末の交通安全県民運動、年末及び年始における特別警戒取締りの期間とも重なる。

当日は琴浦大山警察署において一日警察署長の委嘱式、年末及び年始の特別警戒取締り期間の重点期間を開始する出動式を行った後、JR大山口駅周辺において交通安全を呼びかけるパレードを実施する予定としている。

なお、12月15日には鳥取警察署において元プロ野球選手の川口和久さんを、12月12日には米子警察署においてとっとり地酒大使永井里香さんを、それぞれ一日警察署長に委嘱して各種広報を行う予定である。

委員

全国的に知られている方を一日警察署長を任命されるということで、よい広報活動になると思う。

委員

著名な方に一日警察署長になっていただくので、にぎやかに、しっかりと広報していただきたい。

(2) 鳥取県警察嘱託警察犬等審査会の開催結果等（刑事部）

警察本部

毎年秋に翌年の嘱託警察犬及び指導手を決定する嘱託警察犬等審査会を開催し

ている。本年は11月8日に、鳥取市布勢のヤマタスポーツパークにおいて、審査会を開催した。

審査には、5頭の犬及び3人の指導手が申請し、服従度合いを見る服従審査、選別台に置かれた5枚の臭気布の中から正解の臭気布を選別する臭気選別、足跡に残された臭気から人の行動経路を追及する足跡追及審査を行った。

審査の結果、臭気選別が1頭、足跡追及が3頭の計4頭の犬及び指導手2人が合格した。合格した犬は、いずれも令和5年に嘱託していた警察犬であった。

当日の様子は、日本海テレビ等で放映され、YouTubeでも視聴することができる。

なお、審査会に合格した嘱託警察犬の所有者及び指導手に対し、12月8日に嘱託書交付式を開催し嘱託書を交付する予定としていたが、指導手等が急きよの事情により出席できなくなったことから、式を中止することとした。後日、鑑識課長から直接、指導手等に対し、嘱託書を交付する予定としている。

嘱託期間は、令和6年1月1日から同年12月31日までの1年間となる。来年の嘱託警察犬数は本年と比べると半減することとなるが、本年に引き続き、直轄警察犬を積極活用するなどして対応していく。

次に、次期直轄警察犬指導手の育成について報告する。現在、直轄警察犬1頭及び同指導手1人の体制で運用しており、次期指導手として、鑑識課女性警察官を育成中であったが、警察庁が定める要領に基づき審査した結果、合格基準に達した。今後、複数回の現場出動後、問題が見られなければ、正式に指導手として認定予定である。

なお、既に行方不明者の捜索に1回出動している。

今後も、直轄警察犬と嘱託警察犬を効果的に運用するなど、警察犬制度の活性化を図り、引き続き、犯罪捜査や行方不明者の発見活動等に迅速に対応できるよう取り組んでいく。

委員

警察犬、指導手とも数が激減したが、業務には対応できており影響は少ないと報告を受けた。警察犬の活躍などを、必要性がわかるような形で、しっかり県民に伝えていただきたい。

女性警察官を指導手として認定予定ということで、体制的には充実してきたと思う。引き続き、よろしく願います。

委員

来年、嘱託警察犬が半減するということは、危機的な状況にも感じられる。将来的には新たな指導手、警察犬の確保が必要である。警察犬が活躍している姿を、県民に見せていただくことが、警察犬、指導手の確保につながると思う。引き続き、行方不明者の捜索などに支障がでないように対応していただきたい。

(3) 令和5年年末の交通安全県民運動の実施（交通部）

警察本部

本年12月11日から12月20日までの10日間、年末の交通安全県民運動が実施される。

この時期は一年を通じて最も日没が早く、積雪等による道路環境の悪化による交通事故や、飲酒する機会が増えることで飲酒運転による交通事故の発生が懸念されることから、悲惨な事故を起こさせないために、県民一人一人に交通ルールの遵守と交通マナーの実践を呼び掛け、交通事故防止を図ることを目的に実施される。

運動重点は、「歩行者保護の徹底と夕暮れ時・夜間の交通事故防止」「飲酒運転の根絶」「自転車等の安全利用の推進」の3点である。期間中の12月15日は、「交通安全にみんなで参加する日」及び「交通マナーアップ強化日」として、県民の交通安全意識の高揚に取り組むこととしている。

主な行事予定として、鳥取警察署では、初日の開始式の後、交通安全パレードを実施するほか、各警察署で推進式や車両広報パレードを予定している。また、運動重点に沿った取組として、境港警察署では、境港総合技術高校の生徒が作成したイラストに基づき、交通安全防止のオリジナルのチラシを作成し、管内の商業施設で、高校生と一緒に、歩行者保護の徹底や前照灯の早期点灯、反射材用品の着用等を呼び掛けることとしている。また、米子警察署では、米子城武者隊の協力を得て、飲酒運転根絶の動画を作成し、推進式やSNSで公開することとしている。郡家警察署では、出動式の際に、八頭高校書道部による書道パフォーマンスを行うなど、高校生に交通安全活動に参加してもらうことにしている。若い世代の交通安全意識の醸成につながればと期待している。

今年最後の交通安全運動となるので、悲惨な事故の抑止に向けて、関係機関・団体と連携して取り組むこととしている。

委員

県民と一緒に行動する取組で交通事故防止を図っていただきたい。できることは徹底的に行っていただき、県民に交通安全の意識付けを行っていただきたい。

委員

米子城武者隊や高校生など、幅広く地元の方を巻き込んで、交通安全広報を実施されることはよいと思う。一緒に活動することで、本人だけでなくその家族、周りの方の意識も高まると思う。引き続き、啓発活動をお願いします。

(4) 「ゾーン30プラス」の新設等（交通部）

警察本部

「ゾーン30」は、平成23年から進めている生活道路における人優先の安全安心な歩行空間の整備に向けた施策であり、地域住民の同意が得られる地区をゾーンとして設定し、最高速度30キロの区間規制などの対策を実施するもので、現在、県内に27か所整備されている。

令和5年中の新設は、鳥取市立美保南小学校周辺及び境港市立渡小学校周辺の2か所である。

なお、小学校の統廃合に伴い、境港市立誠道小学校が廃校となったことから、誠道小学校周辺のエリア規制は今年廃止したが、廃止後も通学路対策として、速度規制の30キロは残している。

次に「ゾーン30プラス」の新設について説明する。「ゾーン30プラス」は、最高速度30キロの区間規制とランプ、狭さく等の物理的デバイスとの適切な組合せにより、交通安全の更なる向上を図るものである。この度、鳥取市吉方温泉一丁目地内の日進小学校エリアに新設した。これは山陰地方初の整備である。

鳥取市立日進小学校エリアは、平成26年度に「ゾーン30」が整備され、令和3年度にはエリアが拡大されている。「ゾーン30」整備後、車両の速度抑制等の一定の効果が得られたが、いまだ抜け道として利用する車両があり、地元から車両の速度や通過交通を抑制する新たな対策を望む声があったことから、新設に向けた準備を進めていた。整備にあたり、交差点型ランプ及び狭さくを、道路管理者である鳥取市が設置した。また、警察では、当該エリアが「ゾーン30プラス」であることをドライバーに周知し、車両の速度や通過交通を抑制するために、エリア入口6か所に、シンボルマーク入りの道路表示と看板を設置している。

なお、年末の交通安全県民運動の期間中である12月12日には、日進小学校体育館において、鳥取市、地元自治会、日進小学校児童、鳥取警察署の署長以下が出席して、開設式を予定している。

今後も、地域住民の方や道路管理者等の理解と協力を得ながら、生活道路における人優先の安全安心な通行空間の整備に取り組むこととしている。

委員

「ゾーン30」の設置により、通学路における県民の速度抑制に対する意識が高まったと思う。学校の統廃合があると通学路が変わるので、早めに地域住民の声を吸い上げて、通学路の安全対策をしっかりとっていただきたい。

委員

ドライバーにとっては、道路標識よりも道路上にカラーでしっかりと表示してある方が、より一層分かりやすいと思う。

車で走行していると、横断歩道が消えかかっている所が多くある。特に夜間は、ドライバーに見えづらいと思う。予算の都合もあると思うが、できる限り対応していただきたい。

(5) 衛星画像の効果的活用に関する教養の実施結果（情報通信部）

警察本部

警察庁では、民間の商用衛星の画像データを各種警察活動に活用することを目的として、平成12年度から高解像度衛星画像解析システムを導入し運用している。

県情報通信部では、各所属からの要請を受けて、警察庁に対して申請を行い、警察庁において衛星画像の供給業者から衛星画像データを購入し、要請に基づいた解析を行って、これを提供することで各種警察活動を支援している。

衛星画像は、捜査、災害対策等多岐にわたって活用可能であることから、県警察内での認知度を高めるため、警察庁長官官房通信基盤課通信運用室の画像解析担当補佐を講師に招き、11月20日に、県警察の職員を対象に、「衛星画像解析の概要と警察活動における活用事例」について、教養を実施した。

本教養は本部内に限らず、警察署等ではオンラインで受講してもらい、警務部長や警察署長も含め、総勢84人の職員に受講していただいた。

教養終了後のアンケート結果では、衛星画像の認知度については、知っていた職員は35パーセント、知らなかった職員は65パーセントであった。今後の業務における衛星画像活用の可能性については、「活用したいと思う」が86パーセントであり、本教養を受けて多くの職員に衛星画像の活用について知ってもらうことができた。

また、受講者からの反響としては、「今まで想定していなかった衛星画像の活用について、理解を深めることができた。」、「現時点では活用できる案件はないが、今回の教養のことを頭の中に入れておいて何か活用できる機会があれば申請したい。」などの意見があり、県警察での今後の活用が期待できる結果となった。

衛星画像は客観的な資料として、各種の警察活動に活用できるものであることから、情報通信部では今後も引き続き県警察との連携を密にして、衛星画像の効果的な活用に取り組んでいく。

委員

アンケート結果から、衛星画像の活用を知らなかった方が65パーセントであったところ、研修を受け衛星画像を今後活用したいという声が86パーセントもあったということなので、オンラインも活用した研修会で、多くの警察官に知ってもらうことができよかったと思う。県警察でどのように活用していくかを考えて、できることを探って行ってほしい。

委員

今後も衛星画像が捜査に生かされる場面があると思う。研修会により情報共有がなされ、大変よかったと思う。

(6) 浜村警察署の取組状況（浜村警察署）

浜村警察署

浜村警察署から、特殊詐欺被害の抑止対策のほか、貝がら節祭り及び鷺峰山麓ハーフマラソンにおける警察の活動等について説明がなされた。

委員

浜村警察署は、地域の実情にしっかり対応され、特殊詐欺被害抑止対策を中心に活動をされていることがよく分かった。特殊詐欺に関しては、今後、新しい手口が出てくると思うので、ミニ広報紙などを活用しながら、住民と面接する機会を見つけて、周知していただきたい。コンビニでの立ち寄り活動もされているということで、コンビニにパトカーが止まっていたり、警察官が立ち寄ることで犯罪の抑止になると思う。

貝がら節祭りは3年ぶりの開催で、事前に過去の様子を情報収集して交通規制などをされたと思うが、トラブル等なく終了してよかった。

浜村警察署の活動が、今後より一層充実したものになるようお願いするとともに、年末年始に向けて、気を引き締めて取り組んでいただきたい。

委員

「HAMA警タイムス」を活用した広報活動について、きめ細かな活動をされ、地域住民の方にも好評であるということは、大変よいと思う。引き続き、広報活動をお願いする。

鳥取銀行とローソンの協力によって、2件の特殊詐欺が阻止できたことは、こうした地域の協力が非常に大きいと思う。引き続き、協力の呼び掛けをしていただきたい。

貝がら節祭りは歴史ある祭だと思うので、このような場を利用して、特殊詐欺被害防止の広報活動ができてよかったと思う。

鷺峰山麓ハーフマラソンについては、全国で市民マラソンが活発に実施されており、このようなマラソン大会は地域の活性化に大きく貢献することから、警察でも全面的に協力していただきたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞 1 件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

- ・ 鳥取県警察嘱託警察犬等審査会の開催結果等
- ・ 衛星画像の効果的活用に関する教養の実施結果

4 報告事項

- ・ 監察報告
- ・ 行方不明者数の推移（過去 5 年）

5 決裁

交番その他の派出所及び駐在所の設置に関する規則の一部改正

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。